

難聴学級ベルだより

２０２６年（令和８年）７月２７日（月）　福山市立西幼稚園

オノマトペってなぁに？

「オノマトペ」って聞いたことありますか？「オノマトペ」とは擬音語（「ザーザー」「トントン」等）や擬態語（「ドキドキ」「キラキラ」等）のことです。イヌのことを「ワンワン」と言ったり、ブタのこと「ブーブー」と言ったりする言葉もオノマトペのひとつです。オノマトペは音から意味を連想できるので、こどもは、意味を推論しやすいのです。
たとえば、「うがい」という言葉がわからないこどもも、「ガラガラペッ」してね、というとわかりやすいですよね。オノマトペを通じて日本語の音やリズムに親しんでいくこともできます。

オノマトペはこどもを言語の世界に引きつけます。それによってこどもは言葉に興味をもち、もっと聞いたい、話したい、言葉を使いたいと思います。それだけでもとても大事な働きですが、オノマトペに親しむことでこどもはいろいろな言葉の使い方を学ぶことができます。

模倣しやすい

繰り返しの音が多くリズムがある

音とイメージが結び付きやすい

犬を見て「ワンワンだよ」と鳴き声などを使って表現する

表現が豊かになる

「ザーザー」「ポツポツ」等、様々な情景が表現しやすい



絵本にはオノマトペがあふれています。
おとながこどもの成長に合わせてオノマトペを使って話しかけたり絵本を読んだりすることで、こどもは言葉の面白さを知り、もっとたくさんの言葉や文法を学ぶきっかけをつかんでいきます。

～絵本の紹介～

★「もこもこもこ」　たにかわしゅんたろう　作
★「がたんごとんがたんごとん」　安西水丸　作
★「とんとん　どんどん」　中川ひろたか　作
★「ゆめ　にこにこ」　柳原良平　作

